

製品名: LASS4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13221**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	CERS4
別名	CERS4; LASS4; Ceramide synthase 4; CerS4; LAG1 longevity assurance homolog 4
遺伝子 ID	79603.0
SwissProt ID	Q9HA82
免疫原	抗血清はヒト LASS4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

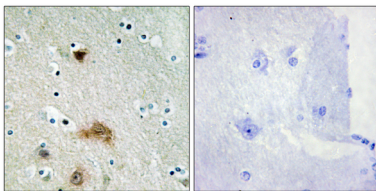
背景

機能: 真の (ジヒドロ) セラミド合成酵素またはその活性調節因子のいずれかである可能性があります。細胞内で過剰発現すると、フモニシン B1 非依存的に、異なる脂肪酸供与体 (N 結合型ステアロイル (C18) またはアラキドイル (C20) セラミド) を含むス

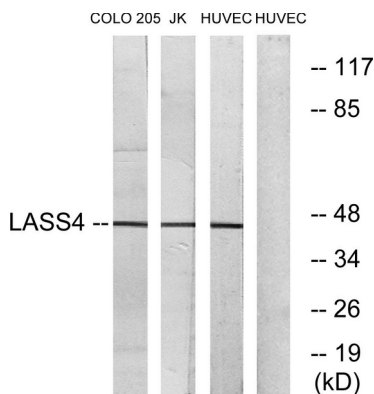
フィンゴ脂質の産生に関与します。類似性: ホメオボックス DNA 結合ドメインを1つ含みます。類似性: TLC (TRAM/LAG1/CLN8) ドメインを1つ含みます。機能: 真の (ジヒドロ) セラミド合成酵素またはその活性調節因子のいずれかです。細胞内で過剰発現すると、フモニシン B1 に依存しない方法で、異なる脂肪酸供与体 (N 結合ステアロイル (C18) またはアラキドイル (C20) セラミド) を含むスフィンゴ脂質の生成に関与します。類似性: 1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。類似性: 1つの TLC (TRAM / LAG1 / CLN8) ドメインを含みます。、

研究分野

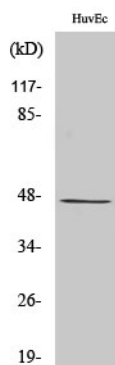
画像データ



LASS4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



LASS4 抗体を用いた HUVEC、COLO、Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



LASS4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析